



平成 27 年 8 月 7 日

各 位

会社名：株式会社 ダイナック
代表者名：代表取締役社長 若杉 和正
(コード番号：2675 東証第二部)
問合せ先：執行役員 管理統括本部長 管理本部長
法務・総務部長 保坂 孝徳
(電話：03 3341 4216)

親会社に係る中間決算内容に関するお知らせ

当社は、当社の親会社であるサントリーホールディングス株式会社の 2015 年 12 月期の中間決算内容を開示いたしますのでお知らせいたします。

記

< 開示内容 >

サントリーホールディングス株式会社 2015 年 12 月期 中間決算概況 (連結)

以 上



2015年8月7日

2015年12月期 中間決算概況

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)新浪 剛史 広報部 TEL (03)5579-1150
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 広報部長 (氏名)濱岡 智 TEL (06)6346-0835
 (百万円未満切捨て)

1. 2015年6月中間期の連結業績(2015年1月1日～2015年6月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年6月中間期	1,236,336	11.5	76,527	18.8	66,238	6.0	15,529	△9.7
2014年6月中間期	1,108,931	18.0	64,401	32.2	62,481	35.0	17,199	△41.8

(参考) のれん等償却前利益

	営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年6月中間期	110,049	31.4	99,759	21.9	43,943	40.2
2014年6月中間期	83,737	38.0	81,817	40.5	31,340	△24.5

(注) のれん等償却前利益 = 利益 + M&Aにより発生するのれん、商標権等償却費

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2015年6月中間期	22 73	-
2014年6月中間期	25 21	-

(参考) 持分法投資損益 2015年6月中間期 1,167百万円 2014年6月中間期 △562百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2015年6月中間期	4,597,085	1,200,328	19.4
2014年12月期	4,536,537	1,190,756	19.4

(参考) 自己資本 2015年6月中間期 891,374百万円 2014年12月期 882,022百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年6月中間期	85,307	△44,931	△10,558	227,724
2014年6月中間期	17,262	△1,430,563	1,165,238	169,270

2. 2015年12月期の連結業績予想(2015年1月1日～2015年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	2,650,000	7.9	193,000	17.1	167,000	8.6	50,000	30.3	73	17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)

のれん等償却前利益	261,000	20.9	235,000	14.6	108,000	36.5
-----------	---------	------	---------	------	---------	------

EBITDA倍率 2015年12月期(予想) 4.3
 ※EBITDA倍率=劣後債務資本性考慮後ネット有利子負債(借入金+社債-現金・預金他)÷EBITDA

D/Eレシオ 2015年12月期(予想) 1.05
 ※D/Eレシオ=劣後債務資本性考慮後ネット有利子負債÷純資産

(参考)個別業績の概要

2015年6月中間期の個別業績(2015年1月1日~2015年6月30日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年6月中間期	31,590	△39.0	13,967	△61.1	13,594	△61.0
2014年6月中間期	51,751	10.9	35,947	16.5	34,841	13.3

	中間純利益		1株当たり利益	
	百万円	%	円	銭
2015年6月中間期	4,991	△83.1	7	30
2014年6月中間期	29,578	△22.0	43	36

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
2015年6月中間期	2,085,665	533,516	25.6	780	79
2014年12月期	2,072,729	525,848	25.4	769	57

(参考) 自己資本

2015年6月中間期 533,516百万円

2014年12月期 525,848百万円

経営成績

1. 当中間連結累計期間の概況

当中間期(2015年1月1日～2015年6月30日)の世界経済は、不確実性が続く環境であったものの、全体として緩やかな回復がみられました。わが国経済においては、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。

こうした中サントリーグループは、〈飲料・食品〉〈酒類〉の両セグメントを中心に国内外で積極的な事業展開を行いました。当中間期の業績は、売上高1兆2,363億円(前年同期比111.5%)、営業利益765億円(同118.8%)、経常利益662億円(同106.0%)といずれも過去最高となりました。中間純利益は155億円(同90.3%)となり、通期の見通しに向けて計画通りに推移しました。

営業利益率改善の要因としては、「利益率の高いビーム社が加わり堅調に推移したこと」「ブランドや製品において高付加価値商品の強化に取り組んだこと」「生産コスト削減やマーケティング費用の効果的な投入を図ったこと」があります。

なお、グローバル企業との比較に有効な指標として、のれん等償却前利益では、営業利益1,100億円(前年同期比131.4%)、経常利益998億円(同121.9%)、中間純利益439億円(同140.2%)となりました。

〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、ブランド強化や新規需要の創造に取り組み、国内・国際事業両輪でさらなる成長を図りました。また、同グループ全体での品質の向上や、コスト革新による収益力強化にも取り組みました。

国内事業では、重点ブランドの強化に加え、新しい価値を持つ商品の投入や高付加価値商品の強化を通じ、新たな需要の創造に取り組みました。

「サントリー天然水」は、“清冽でおいしい水”“ナチュラル&ヘルシー”をブランド独自の価値として訴求しました。「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」「サントリー 南アルプスの天然水&朝摘みオレンジ」が好調に推移したことに加え、4月に発売した「サントリー 南アルプスの天然水&ヨーグリーナ」も寄与し、販売数量は前年同期を大きく上回りました。

「BOSS」は、主力商品のリニューアルに加え、「プレミアムボス ブラック」が好調に推移し、販売数量が伸長しました。

「オレンジーナ」は、オレンジーナ・シュウェップス・グループと共同開発した「レモンジーナ」の新発売も寄与し、販売数量が大幅に伸長しました。

特定保健用食品は、「伊右衛門 特茶」に加え、リニューアルした「サントリー 黒烏龍茶」が好調に推移しました。

なお、同社は7月31日付で、日本たばこ産業株式会社から、飲料自動販売機オペレーター事業子会社の株式と飲料ブランドを取得しました。

国際事業では、各エリアにおいて重点ブランドの一層の強化やコスト削減等を実施しました。

欧州では、「Orangina」「Schweppes」「Lucozade」「Ribena」等の主カブランドを中心に積極的なマーケティング活動を展開しました。また、オレンジナ・シュウェップス・グループとルコゼードライバーナサントリー・グループの連携によるシナジー創出を推進すべく、より効率的な経営情報基盤の構築に取り組みました。スペインでは、業務用の販売において PepsiCo, Inc.との協業開始も寄与し、引き続き販売が好調に推移しました。また、欧州全体での成長に向けて、コスト削減に加え事業基盤の最適化やシナジーの創出に継続的に取り組みました。

アジアでは、各国において事業基盤の強化や主カブランドを中心としたマーケティング活動に取り組みました。健康食品事業では、タイにおいて「BRAND'S Essence of Chicken」の発売180周年を記念したプロモーションを展開しました。飲料事業では、ベトナムでサントリーブランドの展開エリアの拡大や生産体制の強化に取り組み、引き続き販売が大幅に伸長しました。新たな営業体制を構築したマレーシア等においても、販売が好調に推移しました。

オセアニアでは、フルコア・グループが主カブランド「V」の活性化に加え、新商品の投入やサントリーブランド商品「OVI」で積極的なマーケティング活動を行いました。

米州では、ノースカロライナ州を中心にペプシコブランドのさらなる販売強化に加え、物流拠点統合に向けた取り組み等、事業効率の改善を進めました。

これらの結果、飲料・食品セグメントの売上高は、6,180億円(前年同期比103.9%)、利益は467億円(同107.5%)となりました。

〈酒類セグメント〉

ビームサントリー社は、北米や日本で堅調に推移するなど、前年同期比158%の売上となりました。

北米では、「メーカーズマーク」「ノブ クリーク」「ベイゼル ヘイデン」をはじめとするプレミアムウイスキーが好調に推移しました。

欧州では、「ジムビーム」「ラフロイグ」などが伸長しました。

また、欧米で「響」を中心としたプレミアムウイスキー、アジアで「角瓶」の積極的なマーケティング活動を展開しました。

そのなかで、日本ではサントリースピリッツ(株)が前年同期比107%の売上となりました。

ウイスキーは、主要ブランドが好調に推移し、前年同期比110%と大きく伸長しました。「角瓶」は食との相性訴求をテーマにしたマーケティング活動がご好評いただき、前年同期比111%と伸長しました。3月に発売した「響 JAPANESE HARMONY」は、好調な販売となり国産プレミアムウイスキーを牽引しました。「ジムビーム」は“シトラスハイボール”という飲み方提案を軸にお客様接点の拡大を図った結果、前年同期比155%と極めて好調に推移しました。

RTDは、前年同期比115%と大幅に伸長しました。「-196°C ストロングゼロ」は食との相性に高い評価をいただき、前年同期比117%と好調に推移しました。2月に発売した「こくしぼり」は豊かな果実感と深みのあるコクにご好評いただき、年間計画を上方修正しました。またハイボール人気ますます高まっている中、「角ハイボール缶」「トリスハイボール缶」ともに好調に推移し、ハイボール缶は前年同期比112%と引き続き伸長しました。

そのほか「澄みわたる梅酒」などが好評の「澄みわたる」シリーズは、透明ですっきりとした果実の味わいが好評で、好調な販売となりました。

サントリービール(株)は、総市場^{※1}が前年同期比99%程度と推定される中、3,290万ケース^{※2}(前年同期比100%)の販売数量となりました。

「ザ・プレミアム・モルツ」は、“スーパープレミアムクラス”「マスタースドリーム」の新発売や“プレミアムエールビール”〈香るプレミアム〉の通年発売により新たな価値提案を行いました。また全国10都市で体験イベント「ザ・プレミアム・モルツ フェスト」を実施するなどお客様との接点拡大を図り、前年同期を上回る販売数量となりました。新ジャンル「金麦」ブランドは、積極的にマーケティング活動を展開し前年同期比102%となりました。

ノンアルコールビールテイスト飲料No.1ブランド^{※3}の「オールフリー」は、世界初^{※4}コラーゲン2,000mg^{※5}入りの「オールフリー コラーゲン」を発売するなどユーザーの拡大に取り組みました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料を含む

※2 大瓶換算(1ケース=633ml×20本)

※3 インテージSRI調べ 14年1月～14年12月(全国SM/CVS/酒DS/一般・業務用酒店計)

※4 MINTeL 社製品データベースを用いた調査結果 アルコール分0.00%のノンアルコールビールテイスト飲料カテゴリーにおける(2015年当社調べ)

※5 350mlあたりコラーゲン2,000mg 入り

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業は、前年同期比105%となりました。国産ワインでは、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が好調に推移した中、「ジャパンプレミアム岩垂原メルロ 2010」が国際ワインコンクールで「日本ワイン特別賞」「金賞」を同時に受賞しました。また、「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」ブランドが前年同期比124%と大きく伸長しました。輸入ワインでは、活動を強化した中高価格帯商品の販売数量が大きく伸長しました。

これらの結果、酒類セグメントの売上高は、4,749億円(前年同期比131.9%)、利益は318億円(同150.3%)となりました。

〈その他セグメント〉

サントリーウエルネス(株)、(株)ダイナック、ハーゲンダッツジャパン(株)などが事業を展開しました。また、当社が保有していた(株)ティップネスの全株式を譲渡したことなどから、その他セグメントの売上高は1,434億円(前年同期比93.0%)、利益は150億円(同101.5%)となりました。

なお、国内売上高は7,410億円(前年同期比100.6%)、海外売上高は4,954億円(同132.9%)となりました。また、売上の海外比率は40%、のれん等償却前営業利益の海外比率は57%となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また、『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援活動は、震災以降累計108億円の規模で、「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「チャレンジド・スポーツ(障がい者スポーツ)支援」「文化・スポーツを通じた支援」を柱に継続して実施しています。

環境活動では、水源涵養活動を展開している「サントリー 天然水の森」において、引き続き積極的な活動を展開、水源涵養面積はおよそ8,000ha となりました。2020年までに国内工場で使用する地下水量の2倍の水を育む面積である12,000ha を目指していきます。また、子どもたちに水の大切さを伝える次世代環境教育「水育^{みずいく}」を、海外では初となるベトナムで開始したほか、容器包装の軽量化や生産工程での節水・省エネルギー活動を推進しました。

2.通期の見通し

2015年12月期の売上高は、2兆6,500億円(前年同期比107.9%)、営業利益1,930億円(同117.1%)、経常利益1,670億円(同108.6%)、当期純利益500億円(同130.3%)を予定しています。

なお、のれん等償却費を除いて計算した場合は、営業利益2,610億円(前年同期比120.9%)、経常利益2,350億円(同114.6%)、当期純利益1,080億円(同136.5%)となります。

(2015年2月16日発表の業績予想から変更はありません。)

大株主の状況

2015年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の割 合 (%)
寿不動産株式会社	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	613,818	89.32
サントリー持株会	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	32,287	4.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	6,871	1.00
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	6,871	1.00
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	6,871	1.00
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	6,871	1.00
サントリーホールディングス株 式会社(自己株式)	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	3,830	0.55
公益財団法人サントリー生命科 学財団	京都府相楽郡精華町精華台八丁目1番地1	3,590	0.52
佐治信忠	東京都港区	652	0.09
鳥井信吾	神戸市東灘区	539	0.07
計	—	682,204	99.28

(注) サントリー持株会は、当社従業員持株会です。

役員 の 状 況

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当中間決算概況の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2014年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2015年6月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)			
I 流動資産	1,166,254	1,225,085	58,830
現金及び預金	199,331	228,338	29,006
受取手形及び売掛金	376,398	395,701	19,302
たな卸資産	452,874	471,898	19,024
その他の	139,932	131,178	△8,754
貸倒引当金	△2,282	△2,031	250
II 固定資産	3,368,824	3,370,843	2,018
1. 有形固定資産	676,606	674,587	△2,018
建物及び構築物	185,309	194,245	8,935
機械装置及び運搬具	253,480	255,603	2,123
工具、器具及び備品	69,266	66,590	△2,675
土地	107,362	105,501	△1,860
その他の	61,187	52,646	△8,541
2. 無形固定資産	2,506,267	2,475,860	△30,406
のれん	1,118,703	1,071,733	△46,970
商標権	1,323,906	1,337,478	13,571
その他の	63,656	66,648	2,992
3. 投資その他の資産	185,951	220,395	34,444
投資有価証券	122,396	142,502	20,106
その他の	65,442	79,159	13,717
貸倒引当金	△1,888	△1,267	620
III 繰延資産	1,458	1,156	△301
資 産 合 計	4,536,537	4,597,085	60,547

(注)

有形固定資産に対する 減価償却累計額	749,105	764,091	14,985
-----------------------	---------	---------	--------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2014年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2015年6月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(負 債 の 部)			
I 流動負債	779,677	904,594	124,916
支払手形及び買掛金	144,436	169,281	24,845
電子記録債務	104,848	115,269	10,421
短期借入金	87,873	145,162	57,289
1年内償還予定の社債	10,900	60,052	49,152
未払酒税	51,561	38,755	△12,805
未払消費税等	22,236	18,159	△4,077
未払法人税等	22,297	20,426	△1,870
未払金	142,376	152,773	10,396
未払費用	93,388	92,781	△607
賞与引当金	20,737	16,463	△4,274
その他	79,021	75,468	△3,552
II 固定負債	2,566,103	2,492,161	△73,942
社債	476,151	429,267	△46,884
長期借入金	1,470,386	1,420,733	△49,652
繰延税金負債	453,924	468,922	14,998
役員退職慰労引当金	684	626	△58
退職給付に係る負債	36,372	35,446	△925
その他	128,585	137,164	8,579
負債合計	3,345,781	3,396,756	50,974
(純 資 産 の 部)			
I 株主資本	739,505	760,018	20,513
資本金	70,000	70,000	—
資本剰余金	△20,739	△21,021	△282
利益剰余金	692,849	713,645	20,795
自己株式	△2,604	△2,604	—
II その他の包括利益累計額	142,516	131,356	△11,160
その他有価証券 評価差額金	20,322	29,514	9,192
繰延ヘッジ損益	1,239	△527	△1,767
為替換算調整勘定	132,379	113,824	△18,555
退職給付に係る調整累計額	△11,425	△11,455	△30
III 少数株主持分	308,733	308,953	220
純資産合計	1,190,756	1,200,328	9,572
負債純資産合計	4,536,537	4,597,085	60,547

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増 減
	〔 自 2014年1月 1日 至 2014年6月30日 〕	〔 自 2015年1月 1日 至 2015年6月30日 〕	
	金 額	金 額	金 額
I 売 上 高	1,108,931	1,236,336	127,405
II 売 上 原 価	558,733	614,354	55,620
売 上 総 利 益	550,198	621,982	71,784
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	485,797	545,455	59,658
営 業 利 益	64,401	76,527	12,126
IV 営 業 外 収 益	6,722	6,245	△477
受 取 利 息	573	443	△130
受 取 配 当 金	4,626	688	△3,938
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	—	1,167	1,167
為 替 差 益	—	744	744
雑 収 入	1,522	3,201	1,679
V 営 業 外 費 用	8,642	16,534	7,892
支 払 利 息	6,692	14,390	7,698
雑 支 出	1,949	2,143	193
経 常 利 益	62,481	66,238	3,756
VI 特 別 利 益	203	3,259	3,055
固 定 資 産 売 却 益	168	891	722
関 係 会 社 株 式 売 却 益	—	2,332	2,332
そ の 他	34	35	0
VII 特 別 損 失	14,374	8,266	△6,108
固 定 資 産 廃 棄 損	1,900	1,541	△358
買 収 関 連 費 用	8,733	—	△8,733
組 織 再 編 関 連 費 用	2,751	3,853	1,101
そ の 他	988	2,871	1,882
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	48,310	61,231	12,920
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	22,889	35,180	12,290
法 人 税 等 調 整 額	△1,537	△1,329	207
少 数 株 主 損 益 調 整 前 中 間 純 利 益	26,958	27,380	421
少 数 株 主 利 益	9,759	11,850	2,091
中 間 純 利 益	17,199	15,529	△1,670

中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	70,000	△21,109	666,066	△3,332	711,624	20,611	1,374	34,400	56,386	288,714	1,056,726
当中間期変動額											
剰余金の配当			△11,598		△11,598						△11,598
中間純利益			17,199		17,199						17,199
少数株主へ付与されたプット・オプション			△16		△16						△16
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						△584	△1,157	△16,840	△18,582	△7,731	△26,314
当中間期変動額合計	—	—	5,584	—	5,584	△584	△1,157	△16,840	△18,582	△7,731	△20,729
当中間期末残高	70,000	△21,109	671,651	△3,332	717,209	20,027	216	17,560	37,803	280,982	1,035,996

当中間連結会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	70,000	△20,739	692,849	△2,604	739,505	20,322	1,239	132,379	△11,425	142,516	308,733	1,190,756
会計方針の変更による累積的影響額			8,881		8,881						1,434	10,316
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,000	△20,739	701,731	△2,604	748,387	20,322	1,239	132,379	△11,425	142,516	310,167	1,201,072
当中間期変動額												
剰余金の配当			△8,199		△8,199							△8,199
中間純利益			15,529		15,529							15,529
持分法の適用範囲の変動			4,547		4,547							4,547
少数株主へ付与されたプット・オプション			36		36							36
在外子会社の支配継続子会社に対する持分変動		△282			△282							△282
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						9,192	△1,767	△18,555	△30	△11,160	△1,213	△12,374
当中間期変動額合計	—	△282	11,913	—	11,631	9,192	△1,767	△18,555	△30	△11,160	△1,213	△743
当中間期末残高	70,000	△21,021	713,645	△2,604	760,018	29,514	△527	113,824	△11,455	131,356	308,953	1,200,328

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	〔 自 2014年1月 1日 至 2014年6月30日 〕	〔 自 2015年1月 1日 至 2015年6月30日 〕
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	48,310	61,231
減価償却費	37,920	43,392
のれん償却額	18,121	31,164
受取利息及び受取配当金	△5,200	△1,131
支払利息	6,692	14,390
関係会社株式売却益	—	△2,332
固定資産廃棄損	1,900	1,541
売上債権の増減額(△は増加)	△41,208	△20,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,756	△26,692
仕入債務の増減額(△は減少)	23,210	28,127
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,784	△17,141
その他	8,924	21,088
小計	65,130	133,572
利息及び配当金の受取額	4,118	1,158
利息の支払額	△5,397	△15,664
法人税等の支払額	△46,590	△33,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,262	85,307
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△42,234	△50,941
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,992	3,735
投資有価証券の取得による支出	△2,708	△393
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,386,896	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,816
その他	△717	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,430,563	△44,931
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	804,044	30,732
長期借入れによる収入	414,779	5,004
長期借入金の返済による支出	△11,301	△28,398
社債の発行による収入	60,305	—
社債の償還による支出	△79,500	△900
リース債務の返済による支出	△1,465	△1,050
配当金の支払額	△11,598	△8,199
少数株主への配当金の支払額	△10,026	△7,774
その他	—	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,165,238	△10,558
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,296	△1,401
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△249,359	28,416
VI 現金及び現金同等物の期首残高	418,630	199,308
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	169,270	227,724

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能で、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入し、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成され、「飲料・食品事業」、「酒類事業」の2つを報告セグメントとしています。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度より、2014年10月1日に実施した組織変更に伴い、「ビール・スピリッツセグメント」を「酒類セグメント」に変更するとともに、従来、「その他」の区分に含まれていたワイン事業を「酒類セグメント」に移管しています。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき組替を行い、表示しています。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他
 酒類……………スピリッツ、ビール類、ワイン 他
 その他……………中国事業、健康食品、アイスクリーム、外食、花 他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	酒類	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	594,611	360,161	154,158	1,108,931	—	1,108,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,069	1,880	5,287	11,237	△ 11,237	—
計	598,680	362,042	159,446	1,120,169	△ 11,237	1,108,931
セグメント利益	43,444	21,145	14,776	79,366	△ 14,965	64,401

当中間連結会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	酒類	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	618,044	474,896	143,395	1,236,336	—	1,236,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,297	2,549	5,358	12,205	△ 12,205	—
計	622,342	477,446	148,754	1,248,542	△ 12,205	1,236,336
セグメント利益	46,693	31,783	14,991	93,468	△ 16,940	76,527

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

前中間連結会計期間	
セグメント利益の調整額	△ 14,965 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 14,998 百万円
セグメント間取引消去	32 百万円
当中間連結会計期間	
セグメント利益の調整額	△ 16,940 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 16,977 百万円
セグメント間取引消去	37 百万円

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度	当中間会計期間	増減
		(2014年12月31日現在)	(2015年6月30日現在)	
		金額	金額	金額
(資産の部)				
I 流動資産		873,186	878,508	5,322
現金及び預金		7,136	43,127	35,990
売掛金		3,450	3,574	123
有価証券		2	2	—
貯蔵品		52	49	△3
短期貸付金		827,064	808,621	△18,442
その他		35,479	23,133	△12,346
II 固定資産		1,198,902	1,206,624	7,722
1.有形固定資産		33,044	37,282	4,238
2.無形固定資産		3,876	3,877	0
3.投資その他の資産		1,161,981	1,165,464	3,483
関係会社株式		324,214	305,006	△19,207
長期貸付金		793,297	798,543	5,246
その他		45,850	63,315	17,464
貸倒引当金		△1,382	△1,401	△19
III繰延資産		641	531	△109
資産合計		2,072,729	2,085,665	12,935

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	32,793	32,366	△426
-------------------	--------	--------	------

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度	当中間会計期間	増減
		(2014年12月31日現在)	(2015年6月30日現在)	
		金額	金額	金額
(負債の部)				
I 流動負債		148,581	141,306	△7,274
短期借入金		9,568	25,646	16,078
1年内償還予定の社債		10,900	10,000	△900
未払法人税等		415	263	△152
預り金		91,254	67,494	△23,760
賞与引当金		5,300	4,820	△480
その他		31,141	33,081	1,940
II 固定負債		1,398,300	1,410,841	12,541
社債		183,903	184,298	394
長期借入金		1,196,832	1,202,535	5,702
退職給付引当金		195	3,120	2,924
資産除去債務		765	771	6
その他		16,603	20,116	3,512
負債合計		1,546,881	1,552,148	5,266
(純資産の部)				
I 株主資本		519,858	523,427	3,569
資本金		70,000	70,000	—
資本剰余金		285,090	285,090	—
資本準備金		17,500	17,500	—
その他資本剰余金		267,590	267,590	—
利益剰余金		167,373	170,942	3,569
その他利益剰余金		167,373	170,942	3,569
特別償却準備金		66	58	△8
固定資産圧縮積立金		37	726	689
別途積立金		124,100	154,900	30,800
繰越利益剰余金		43,169	15,257	△27,911
自己株式		△2,604	△2,604	—
II 評価・換算差額等		5,989	10,088	4,099
その他有価証券評価差額金		7,228	10,883	3,655
繰延ヘッジ損益		△1,239	△794	444
純資産合計		525,848	533,516	7,668
負債純資産合計		2,072,729	2,085,665	12,935

中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 中 間 会 計 期 間	当 中 間 会 計 期 間	増 減
	(自 2014年1月 1日) (至 2014年6月30日)	(自 2015年1月 1日) (至 2015年6月30日)	
	金 額	金 額	金 額
I 営 業 収 益	51,751	31,590	△20,161
II 営 業 費 用	15,804	17,622	1,818
営 業 利 益	35,947	13,967	△21,979
III 営 業 外 収 益	2,962	8,035	5,073
IV 営 業 外 費 用	4,067	8,408	4,340
経 常 利 益	34,841	13,594	△21,247
V 特 別 利 益	1	978	977
VI 特 別 損 失	7,881	9,748	1,867
税 引 前 中 間 純 利 益	26,961	4,824	△22,136
法人税、住民税及び事業税	△1,219	1,081	2,300
法 人 税 等 調 整 額	△1,397	△1,248	149
中 間 純 利 益	29,578	4,991	△24,587

中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本												評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金				利益剰余金 合計						
					特別償却 準備金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
当期首残高	70,000	17,500	267,220	284,720	88	39	59,900	79,973	140,001	△3,332	491,389	7,512	7,512	498,901	
当中間期変動額															
剰余金の配当								△11,598	△11,598		△11,598			△11,598	
中間純利益								29,578	29,578		29,578			29,578	
特別償却準備金の取崩					△10			10	—		—			—	
固定資産圧縮積立金の取崩						△1		1	—		—			—	
別途積立金の積立							64,200	△64,200	—		—			—	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)												△647	△647	△647	
当中間期変動額合計	—	—	—	—	△10	△1	64,200	△46,208	17,980	—	17,980	△647	△647	17,332	
当中間期末残高	70,000	17,500	267,220	284,720	77	38	124,100	33,765	157,982	△3,332	509,369	6,864	6,864	516,234	

当中間会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本												評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金				利益剰余金 合計							
					特別償却 準備金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金								
当期首残高	70,000	17,500	267,590	285,090	66	37	124,100	43,169	167,373	△2,604	519,858	7,228	△1,239	5,989	525,848	
会計方針の変更による累積的影響額								6,777	6,777		6,777				6,777	
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,000	17,500	267,590	285,090	66	37	124,100	49,946	174,150	△2,604	526,636	7,228	△1,239	5,989	532,625	
当中間期変動額																
剰余金の配当								△8,199	△8,199		△8,199				△8,199	
中間純利益								4,991	4,991		4,991				4,991	
特別償却準備金の取崩					△8			8	—		—				—	
固定資産圧縮積立金の積立						691		△691	—		—				—	
固定資産圧縮積立金の取崩						△2		2	—		—				—	
別途積立金の積立							30,800	△30,800	—		—				—	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)												3,655	444	4,099	4,099	
当中間期変動額合計	—	—	—	—	△8	689	30,800	△34,688	△3,208	—	△3,208	3,655	444	4,099	891	
当中間期末残高	70,000	17,500	267,590	285,090	58	726	154,900	15,257	170,942	△2,604	523,427	10,883	△794	10,088	533,516	